



紙おむつなど衛生製品の風合いと快適性

キーワード

衛生製品、快適性、紙おむつ、ナプキン、風合い

研究内容

紙おむつや吸水パッド、生理用ナプキンなどの衛生製品は、乳幼児用のみならず大人用製品も多く市販されるようになり、若い女性から高齢者まで幅広い年代の人が使用しています。尿の吸収性等の基本性能が高いことのみならず、はき心地や風合いの良さといった着用時の快適性を求める消費者も多いと考えられます。また、布地の肌着との違いから、使用への抵抗感を持つ方もおられます。

我々は、風合い計測システムによる物性評価と、使用感や触感を調査する官能評価を組み合わせ、衛生製品の着用快適性の向上と使用抵抗感の軽減を目指す研究を行っています。布製の肌着に近い風合いの紙おむつの提案や、着用時の快適性が向上する改良方法の提案を目的として、研究を進めています。



風合い計測システムでの紙おむつの接触冷感の測定



東京家政大学内子育て支援センター「森のサロン」での調査

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・「乳幼児用紙おむつ吸収体部の熱・水分移動特性」東京家政大学研究紀要、第61集(2)、2021、25-32
- ・『衛生製品とその材料開発 事例集』第5章 第5節、技術情報協、2016
- ・ H. Hamada et al., Evaluation of the texture of absorbent pads, Comfort and Smart Textile International Symposium 2019 Proceedings, P- 27
- ・ 特願2024-036037「吸収性物品」
- ・ 特開2019-208621「パンツ型吸収性物品」
- ・ 特開2016-220752「吸収性物品」
- ・ 北区 王子高齢者あんしんセンター ふれあいサロンでのミニレクチャ

社会連携・産学連携の可能性

風合いの良い衛生製品の開発への協力のほか、高齢者が多い地域や子育て応援地域において、衛生製品の機能に関する啓発活動等を通じた交流が行えます。